

等々力溪谷公園の現状について

1. 令和5年7月に発生した公園内の倒木被害について

令和5年7月に公園内でシラカシの大木が遊歩道に向かって倒れる被害がありました。倒木時は強風等も無く、原因は病虫害により弱り始めていたところに令和5年の異常な暑さで急速に樹勢の衰退が進み、自重により幹折れしたものと推定されます。



倒木時の様子



幹折れの状況

2. 等々力溪谷公園内の危険木の状況

- ・ 倒木被害を受け、公園内の樹木調査を実施しました。
- ・ 調査の結果、実施区域内(区有地)にある約700本の樹木のうち、病虫害や腐朽等により緊急で軽減剪定や伐採等の対応が必要な危険木が約50本見つかリ、区域内全体に広く分布している状況である事がわかりました。
- ・ この他にも樹勢・樹形の活力が低下傾向にある樹木が約40本見つかっており、これらの樹木は今後、状態を経過観察していく必要があります。



樹木調査の実施区域

3. 今後の作業予定 (具体的な作業スケジュールを検討しています)

危険木約50本について、R6年度から順次、剪定・伐採作業を進めていく予定ですが、ほとんどが人力作業となるため、全ての作業が終わるまでに数年はかかることが見込まれる状況となっております。そのため、作業が完了した区域から、順次、一部ずつ開放できるよう作業スケジュールを検討しております。今後、具体的なスケジュール等が決まり次第、随時情報を更新してまいります。

渓谷での剪定・伐採作業について

渓谷公園内は急傾斜地のため、作業車両や大型の建設機械がほとんど入る事ができません。そのため、今回対応が必要な危険木の対処にはかなりの時間が必要となります。



樹上にロープを張り巡らせて命綱で安全を確保しながら剪定・伐採を行います。また、数十トンにもなる木材を人が運べる重さに小さく切り、斜面の上までほとんどを人力で運搬します。



ロープワークによる伐採作業

長期にわたりご迷惑とご不便をおかけして誠に申し訳ありませんが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。